

令和 4 年 9 月 6 日

(宛先) 刈谷市障害者自立支援協議会

所 在 地 愛知県名古屋市中熱田区白鳥 3-10-19

BLG 白鳥 8F

名 称 株式会社 TRINITYPARTNERS

代 表 者 代表取締役 澤田 昌志

日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設に係る評価、要望、助言
等依頼書

次のとおり日中サービス支援型共同生活援助事業を開始しますので、評価、要望、助言等
をお願いします。

事業 所 基 本 情 報	事業所名	Harerubase Kariya グループホーム彩(仮)
	事業所所在地	刈谷市半城土町大下馬 100 番
	事業開始指定日 (予定日)	令和 5 年 4 月 1 日
	対象障害種別	特定無し
	定 員	計 20 人
	特 記 事 項	ニーズにより上記は変更の可能性あり
障がい福祉サービス事業等の実績 (申請事業者の実績)		
●実績 (開設した市町村名、事業所名、サービス種別、開設年月等) 新規設立事業者のため、実績なし		
刈谷市で日中サービス支援型共同生活援助事業を開設する経緯・目的		
弊社の企業理念は、「介護・福祉を通じて幸せな社会づくりを目指す」ことです。 弊社が考える幸せな社会とは、「全ての人が自分らしく挑戦できる」・「全ての人が自分らしく 選択できる」・「全ての人が自分らしく表現できる」ことです。 この幸せな社会づくりを実現するためには、重度障害者対応が可能である日中サービス支 援型共同生活援助事業が必要であると考えますが、現状、刈谷市には日中サービス支援型 の共同生活援助事業がないため、新規で設立するに至りました。		

利用者への社会生活上の便宜

●日中を住居内で過ごす利用者に対して、個々のニーズや障害特性に配慮しどのような支援を行う予定か(外出の希望にどのように応えるか外出プログラム、余暇活動はどのようなものを用意しているか等)

基本的には、個別支援計画に沿って支援を行います。

個別支援計画作成の際には、利用者や家族の方だけではなく、相談支援事業所や利用されている福祉サービス事業所等との情報共有を図り、利用者のニーズや障害特性に応じた計画の作成に努めます。

余暇活動については、入居される利用者様の状況や障害特性を鑑み、今後検討していきます。

●利用者への支援のために、特定相談支援事業者や他の障害福祉サービス事業者とどのように緊密な連携を図る予定か

各利用者の計画作成を行った相談支援事業所との定期的な連絡・意見交換を行うとともに、刈谷市障害者自立支援協議会を中心とした、各連絡会に、積極的に参加して事業所間のコミュニケーションを形成していきます。

可能であれば、相談支援連絡会、地域生活支援連絡会、地域包括交流会への参加をしたいと考えております。

連携手法及び狙い

連絡先を交換→電話・メール等でのご挨拶→密な連絡の許可を頂く→日頃の情報発信をする→興味を持っていただく→お互いの認知→仕事を通じた信頼関係の形成・醸成→事業所間の連携体制を構築する。

●利用者が日常生活を営む上で必要な行政機関に対する手続等について、利用者の同意を得て代理で行う場合の金銭管理等の手続方法は検討しているか

◆金銭管理等については、以下の手続きを検討しています。

- ・金銭管理は、やむ負えない事情があるときや、その家族等から申し出があった場合(家族等からの同意書を受領することで)行うことができることとする。
- ・利用者等より依頼があった時は金銭管理規定を締結し、預かり金を預かった場合や代理で支払いを行った場合は、現金出納帳に記入し、必要に応じて預かり書を発行する。
- ・出金に伴う領収書またはレシートを保管し、月 1 回以上、定期的に利用者、家族等に現金出納帳や通帳の写し、領収書により、収支状況を報告する。
- ・預かり金の返還の申し出があった際は速やかに返還する。
- ・現金、通帳、印鑑等は鍵付き金庫等で管理をする。
- ・金銭管理責任担当者を定め、適切に利用者の金銭が管理されるよう努める。

●家族や地域住民との交流の機会を確保するための取り組みについてどのようなことを行う予定か

地域情報の収集に努め、利用者及びその家族への情報提供を行い、地域のイベントへの参加を促すことで地域交流を図ります。また、施設としても入居される利用者の状況や障害特性を鑑み、利用者と地域との交流の機会を持てるイベントの主催を検討していきます。地域貢献方法は、今後検討していきます。